



## 平成30年度 年間論文賞選考結果について

年間論文賞審査委員会

委員長 横田 勇

### 論文審査委員会委員

横田 勇	静岡県立大学 名誉教授
根本 康雄	一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会 顧問
杉山 吉男	一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会 副会長
田所 正晴	元神奈川県環境科学センター、(株)アストラル 取締役
河邊 安男	一般財団法人 日本環境衛生センター 技術顧問

論文審査委員会では「環境技術会誌169～172号」および「かながわ環境技術会誌(17号)」に会員が執筆した14編の論文について、慎重に審査したところ、下記のとおり6編の論文を優秀論文として選考しました。

受賞される方には心からお祝いを申し上げますとともに、益々のご活躍を期待します。

環境技術会誌は、廃棄物処理施設の維持管理技術に関する情報を提供するという重要な使命を有しておりますので、施設建設から運営・維持管理等を通して得られた進歩・改善の成果を会員が共有できるよう環境技術会誌等に投稿されることを希望します。

### 記

#### 1. 受賞論文

##### 1) 最優秀賞：山上 明男 藤沢市環境部石名坂環境事業所

「藤沢市のエネルギー地産地消事業について（かながわ環境技術会誌17号）」

選考理由：本稿は、自家消費の発電施設をシステム改造により、負荷変動や発電出力の低下等を解決したなど、貴重な報告である。

これらの内容は、ごみ焼却発電によるエネルギーの地産地消のシステムづくりを行う自治体にとって極めて有用である。

##### 2) 優秀賞：久安 順子、山口 寛 東京二十三区清掃一部事務組合

「特集 廃棄物処理施設の維持管理体系（理論と実際）運転・管理上のトラブルに学ぶ3 ごみ焼却施設（清掃工場）第3章 水銀含有ごみ対応について（環境技術会誌169号）」

選考理由：本稿では、清掃工場の喫緊課題である水銀含有ごみ対策として、排ガス中の水銀濃度が上昇した際には、液体キレートを用いた洗煙設備を効果的に運用することが有効であることを明らかにした。

これらの内容はごみ焼却施設の水銀排出抑制対策として極めて有用である。

## 3) 特別賞：藤島 健司 浅野環境ソリューション(株)

「特集 廃棄物処理施設の維持管理体系（理論と実際） 運転・管理上のトラブルに学ぶ3 し尿・汚泥再生処理施設（環境技術会誌169号）」

選考理由：本稿は、し尿処理施設の特徴的なトラブルへの対応策を実体験に基づいて解説したものである。これらの内容は、し尿処理施設の運転管理の役割を担う技術者にとって極めて有用である。

## 4) 特別賞：塚越 浩 東京二十三区清掃一部事務組合

「特論 東京二十三区清掃一部事務組合 清掃技術・技能継承への挑戦（環境技術会誌169、170号）」

選考理由：本稿では、これまで報告例の少なかった設計積算、業務委託、環境管理等の人材育成やごみ焼却施設の技術的課題解明への取組み内容が詳細に報告されている。これらの内容は、廃棄物処理施設の運転管理の役割を担う技術者にとって極めて有用である。

## 5) 功 労 賞：石川 龍一 荏原環境プラント(株)

「(一社) 環境衛生施設維持管理業協会における「人材の育成・技術の継承」の取組（環境技術会誌171号）」

選考理由：本稿では、IoTやAIを導入した運転管理にも対応できるよう、環境衛生施設維持管理業協会（環維協）の取り組みを解説したものである。これらの内容は、高度化する廃棄物処理施設を適切に運転管理するための指針ととして有用である。

## 6) 奨 励 賞：田中 敏樹 (株)タクマテクノス

「JEMAレポート 業務改善や創意工夫の気風を育てる改善提案制度について（環境技術会誌172号）」

選考理由：本報は、作業の効率化、安全性の向上、コスト削減など、社内の改善提案制度などの事例の紹介したものである。これらの内容は、人材育成の役割を担う技術者にとって極めて有用である。

以上